令和6年第4回予算決算常任委員会

令和6年9月26日（木）午前9時30分

下呂庁舎3-1会議室

1. 付託案件

- (1) 認第1号 令和5年度下呂市一般会計決算の認定について
- (2) 認第2号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について
- (3) 認第3号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- (4) 認第4号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について
- (5) 認第5号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）決算の認定について
- (6) 認第6号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について
- (7) 認第7号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について
- (8) 認第8号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について
- (9) 認第9号 令和5年度下呂市水道事業会計決算の認定について
- (10) 認第10号 令和5年度下呂市下水道事業会計決算の認定について
- (11) 認第11号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について
- (12) 認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について

2. その他

- (1) 閉会中の継続調査申出について
- (2) その他

出席委員（13名）

委員長	森	哲	士	副委員長	田	口	琢	弥
委員	下	平	裕次郎	委員	桂	川	融	己
委員	大	西	尚	委員	高	井	範	和
委員	桂	川	いずみ	委員	加	藤	久	人
委員	鷺	見	昌	委員	田	中	喜	登
委員	尾	里	集	委員	中	島	ゆ	き
委員	今	井	政					
	良							

欠席委員（なし）

委員外議員

議長 中島達也

説明のため出席した者の職・氏名

市長	山内 登	副市長	田口 広宣
教育長	中村 好一	総務部長	野村 穰
総務部次長兼秘書課長	杉山 由美	税務課長	江原 由佳
まちづくり推進部長	田谷 諭志	財務課長	杉山 勝彦
市民保健部長	森本 千恵	市民サービス課長	二村 和男
市民サービス課対策監	河合 純佳	市民サービス課課長補佐	野中 マミイ
小坂診療所管理課長	田立 雅宏	地域振興部長	大坪 孝弘
下呂振興事務所長	熊崎 龍毅	観光商工部長	小池 雅之
観光施設長	熊崎 一彦	福祉部長	小澤 和博
高齢福祉課長	竹田 太	高齢福祉課 包括支援センター対策監	戸谷 直樹
建設部長	大前 栄樹	建設課長	中田 誠
上下水道部長	今村 正直	水道課長	岩田 考広
下水道課長	谷田部 武一	金山病院事務局長	池戸 美紀
金山病院事務課長	亀山 嘉人	教育委員会事務局長	山中 明美
学校給食センター所長	今井 健人	消防長	遠藤 丙午
消防総務課長	中田 邦博		

職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	田添 誠	議会総務課長	細江 隆義
議会総務課主任主査	柿ヶ野 明広		

○委員長（森 哲士議員）

おはようございます。

お疲れさまでございます。

ただいまから昨日に引き続き予算決算常任委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は13名で、定足数に達しており、委員会は成立しております。

また、報道機関から取材の申出がございますので、これを許可いたします。

本日は、会議システムで配付してあります予算決算常任委員会審査日程表のとおり、特別会計決算及び公営企業会計の決算について審査を行います。

なお、審査の進行状況により、審査予定時間を変更して行うことがありますので、御了承ください。

説明に当たっては、基本的に予算決算常任委員会説明資料を用いて、新規事業、拡充事業、見直し事業、継続事業の順に行われます。継続事業につきましては、事業費が300万以上を説明対象としております。

委員及び執行部の皆さんにお願いをいたします。

議事録作成のため、説明・質疑の際は必ずマイクのスイッチを入れ、役職、氏名を名のり、資料ページを言っただき、簡潔明瞭に発言いただきますようよろしくお願いをいたします。

委員の皆さんにお願いします。

質疑は会計ごとにまとめて行うこととし、再質問は2回をめどといたします。ただし、委員長が認めたときはこの限りではございません。これに異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

それでは、認第2号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○市民サービス課長（二村和男）

おはようございます。

認第2号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について説明いたします。

歳入につきましては、実績報告書にて説明します。

事務事業の実績報告書257ページをお願いします。

上段、歳入の状況を御覧ください。

主なものを説明します。

一番上の行です。国民健康保険税の決算額は5億6,922万8,000円です。前年度に対し5,805万9,000円の減額となりました。減額の要因ですが、保険税率の改定によるものです。

2行飛ばしまして、県支出金の決算額は、合計で24億2,999万5,000円となり、前年度に対し2,361万円の減額となりました。減額の主な要因ですが、特別交付金が減少したことによるものです。交付金メニューにある結核・精神に関する部分でレセプト割合が申請基準に満たなかったため、今回申請ができなかったことと、保険税の収納向上に係る部分で過年度分の収納額が基準値以下であったため、未交付となったものによるものです。

下から4行目、繰入金の決算額は3億5,461万4,000円です。繰入金の内訳ですが、一般会計繰入金2億2,423万5,000円、基金繰入金1億3,037万9,000円です。

繰越金の決算額は1億487万3,000円です。

諸収入の決算額は707万2,000円です。

歳入合計は34億6,635万2,000円、前年度に対し9,539万円の減額となりました。

歳出状況は、後ほど予算決算常任委員会説明資料にて説明します。

258ページをお願いします。

被保険者の状況と医療費についてです。

表-1は、下呂市の総人口と国保の被保険者数の推移です。

下呂市国保の令和5年度の被保険者数は、年度平均で5,751人となり、前年度より446人、7%の減少となりました。また、国保加入者が市民に占める割合は19.7%となりました。

その下、表-2は療養給付費等の状況です。

令和5年度は、費用額26億8,711万2,000円です。被保険者数の減少に比例して全体の給付費も減少傾向で推移しており、令和5年度は前年度より2,157万2,000円の減額となりました。

259ページをお願いします。

表-3は、1人当たり費用額の推移です。1人当たり費用額は46万7,243円で、前年度より増加しております。

表-4は、1人当たり費用額の前年度対比増減率の推移です。

表-5は、医療費を分析する際に用いる3要素、1人当たり、1日当たり、1件当たりをグラフ化したものです。

260ページをお願いします。

260ページは、歳出の区分ごとの財源内訳です。

岐阜県が県内全ての国保の財政運営を行っていますので、市が支出した保険給付費は県から普通交付金として交付されます。

261ページをお願いします。

国保税の収納状況です。左から3列目の調定額は、全体で6億4,586万8,000円、その横、収入済額が5億6,922万8,000円です。2列飛ばしまして、収納率は全体で88.13%となり、前年度から0.23%向上しました。2列左へ戻りまして、不納欠損額は、47世帯、1,329万9,000円です。

予算決算常任委員会資料として、税務課から市税の概要が提出されております。そちらの21ページから御覧ください。

21ページ、1. 収納状況の推移及び22ページ、2. 被保険者数・世帯数の推移につきまして、過去5年分の推移について記載しております。

22ページ下段、3. 国保税の減免状況では、事由別減免状況が記載されています。合計で67件、282万784円です。

続きまして、歳出でございます。

予算決算常任委員会説明資料の47ページをお願いします。

全て継続事業となります。

一般管理諸経費、決算額は870万6,000円です。国民健康保険事業の事務に要する経費です。主なものは、資格管理、被保険者証の更新、診療報酬明細処理電算委託料です。前年より408万8,000円の減額です。減額理由ですが、昨年度はシステム改修があったためです。財源は一般会計繰入金870万6,000円です。

賦課徴収諸経費、決算額は805万円です。国民健康保険税の賦課徴収を行うための事務費です。主なものは、国保税の通知や電算委託料などです。前年度より229万7,000円の増額です。主な増額理由ですが、出産する被保険者への国保税減免措置に係るシステム改修費の増額となります。財源は、一般会計繰入金805万円です。

医療費適正化特別対策事業費、決算額は541万2,000円です。医療費の適正化のため、診療報酬明細書の点検業務を行いました。財源は、一般会計繰入金91万2,000円です。

一般被保険者療養給付費、決算額は19億8,881万7,000円です。これは一般被保険者の医療に要した費用のうち、国保の負担分を支出したものです。前年度より2,284万1,000円の減額となりました。減額の要因ですが、先ほどの療養給付費等の状況で説明したとおりです。財源は、普通交付金19億8,881万7,000円です。

一般被保険者療養費、決算額は1,172万8,000円です。一般被保険者がコルセットなどの補装具や柔道整復、またはやむを得ない理由により被保険者証を提示しないで診療を受けた場合の療養費の給付を行いました。給付件数は2,171件です。財源は、普通交付金1,172万8,000円です。

審査支払手数料、決算額は662万7,000円です。これは、国保連合会へ支払った診療報酬明細書審査手数料です。審査件数は11万828件です。財源は、普通交付金662万7,000円です。

一般被保険者高額療養費、決算額は3億1,721万7,000円です。高額な医療費が発生した場合に自己負担限度額を超える額を給付しました。給付件数は5,334件となりました。前年度より1,806万6,000円増額しています。前年度と比較して入院件数は減少しておりますが、入院時の費用額は増加しています。医療の高度化に伴い、高額療養費支給額も増額したと考えております。財源は、普通交付金3億1,721万7,000円です。

一般医療給付費納付事業とその下、一般後期高齢支援金納付事業と次ページ、介護分納付事業ですが、これは県の納付金です。保険給付費は県から普通交付金として交付されますが、市町村は県が示す納付金を納めることになっています。前年度の差額は、県が示した納付金との差額によるものです。

47ページ、下から2段目をお願いします。

一般医療給付費納付事業、決算額は6億82万円です。こちらは、一般被保険者の医療給付費分です。前年度より4,504万9,000円の減額です。財源は、県支出金4,189万1,000円、一般会計繰入金1億2,019万4,000円です。

一般後期高齢支援金納付事業、決算額は2億228万6,000円です。こちらは、一般被保険者の後期高齢者支援分です。前年度より1,193万4,000円の増額です。財源は、県支出金990万1,000円、一般会計繰入金9,493万1,000円です。

48ページをお願いします。

介護分納付金、決算額は6,650万円です。こちらは、介護納付金分です。前年度より45万6,000円の減額です。財源は、県支出金325万5,000円、一般会計繰入金1,148万3,000円です。

特定健康診査事業、決算額は2,342万9,000円です。被保険者を対象に特定健康診査を実施しました。受診率は、市独自実施の若年層で19.8%、特定健康診査では49%と前年度より増加しております。財源は、県支出金861万円、一般会計繰入金13万4,000円です。

国民健康保険基金費ですが、最後に説明します。

その下、償還金、決算額は1,127万4,000円です。令和4年度の普通交付金の精算分などを県に返還しました。

国民健康保険特別会計（診療施設勘定）繰出金、決算額は2,454万9,000円です。小坂診療所特別会計繰出金を支出しました。

次に、基金の説明をします。

実績報告書319ページをお願いします。

下段の特別会計の1つ目、国民健康保険基金を御覧ください。

年度中増減につきましては、B列、元金積立が前年度繰越時の積立て分6,328万8,000円です。C列、利子分積立が36万2,000円です。D列、取崩しは1億3,037万9,000円です。国保税の軽減を目的に基金から繰入れを行ったものです。年度末現在高は4億5,560万8,000円となりました。

その下、国民健康保険高額医療費貸付基金は、定額運用基金で、年度末残高は850万円です。貸付けの5年度中の利用はありませんでした。

説明は以上です。審査のほどよろしく願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、これより認第2号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（大西尚子議員）

ページ数、263ページをお願いいたします。

医療費適正化特別対策事業費のことについてちょっとお伺いします。

こちら、返戻点数ということで141万9,200点というのがありまして、こちらは1点10円という

ことで、掛ける部分ですけれども、取戻しというか返戻のあった分の対処というか、そちらのほうはどういうふうになったのか教えていただきたいです。

○市民サービス課長（二村和男）

レセプトの点数を返戻しまして保険医療機関にお戻しします。それで、返戻が確定されれば返戻した金額で請求されるということになりますので、返戻されたから直接その金額が戻るということではなくて、一度全てお返しして新しいレセプトで請求していただくというような流れになっております。

○委員長（森 哲士議員）

よろしいか。

ほか、ありませんか。

○委員（田中喜登議員）

すみません、全般的な話としてお伺いしますが、いつも国民健康保険は高い高いという話が出るんですが、全国的にというか、国の動きとして統一化というような中で、下呂市の場合は、いつもお話聞いていますけど、据置き、あるいは下がるぐらいで頑張ってもらっておるということは承知しておりますが、県のレベルの中で大体どれぐらいの水準にいるのか。それから、今後の展望といたしますか、主としてどんな考えでいるのか、その辺をお聞かせください。

○市民サービス課長（二村和男）

すみません、ちょっと今、現時点の賦課後の数値は見ておらんのですけれども、令和5年度の当時なんですけど、下呂市は県内で、令和5年度の6年度の税率を検討するときの資料としての数字なんですけれども、6年度は令和5年度と全く同じ保険税率にしておるんですけど、その中で、令和5年中の話を見れば、県内で低いほうから、21市で低いほうから4番目というところになって、大変低い数値ではあると思います。基金などを活用していただいて、今まで国保の方が基金を積み立てていただいて、その基金を今使う形で保険税率を下げているところがございます。

今後の見通しということなんですけど、いわゆる、今は県が下呂市の、基金とか関係なしに、下呂市の今の現状で、下呂市の所得とか人数割とかの状況で一番適しているんじゃないかという、標準税率というのを算定していただける制度です。それはどの市町村でもやっていますし、標準税率の算定の仕方そのものは国で決められたものなんですけれども、それを見ると、大変下呂市は低い状況になっております。

基金も今、昔は基金を積み立てるような部分もあったんですけども、最近は基金を出して減る分も多いもんですから、今後はやはり今のような低い状態で持っていくのは難しいんじゃないかとは感じておりますが、ちょっとまた来年度の保険税率に向けて、また医療費など、県の動向なども確認しながら慎重に進めたいと思っております。以上です。

○委員長（森 哲士議員）

よろしいか。

○委員（田中喜登議員）

ありがとうございます。

やはり家計に占める割合もかなり高くて、大変な部分もあろうかと思imasので、その辺も配慮していただいて進めていっていただければと思imas。よろしくお願imasします。

○委員長（森 哲士議員）

ほか、ありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で認第2号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について質疑を打ち切ります。

続いて、認第3号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○市民サービス課長（二村和男）

認第3号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について説明いたします。

実績報告書の271ページをお願いします。

歳入につきまして御説明します。

上段、歳入の状況を御覧ください。

主なものを説明します。

一番上の行です。保険料の決算額は4億1,756万4,000円です。前年度に対し900万3,000円の増となりました。増額の要因は、被保険者数の増によるものです。

1つ飛ばしまして、後期高齢者医療広域連合支出金の決算額は1,995万5,000円です。これは保健事業の委託料となります。

一般会計からの繰入金の決算額は1億6,555万8,000円で、法令に基づく繰入金分となります。

繰越金の決算額は2,781万2,000円です。これには例年の繰越分のほか、監査や一般質問であったとおり、令和4年度中に後期高齢者医療広域連合に対する保険料の納付において、納付額を誤って処理したことによる支払いの漏れが生じた分の1,436万円が含まれております。昨年度の9月補正時に説明不足であったことを改めておわび申し上げます。今後、このようなことがないように、適切に事務処理を進めてまいります。

説明を続けます。

諸収入の決算額は149万1,000円です。前年度に対し298万1,000円の減額となりました。減額理由ですが、前年度は制度改正変更に対応するための補助金があったためです。

歳入の合計は6億3,238万8,000円です。前年度に対し3,328万2,000円の増となりました。

続きまして、歳出について説明します。

予算決算常任委員会説明資料の49ページをお願いします。

全て継続事業となります。

一般管理諸経費、決算額は313万7,000円です。被保険者資格管理等を広域連合と連携しながら進めるための経費となります。主な支出は、被保険者の資格異動に係る事務費と医療給付費等の申請受付に係る事務費になります。前年度に対し204万円の減額となりました。減額理由ですが、昨年度は制度改正により被保険者証の発送を2回実施したためです。財源は、一般会計繰入金313万7,000円です。

後期高齢者医療広域連合納付金、決算額は5億9,091万9,000円です。主な支出ですが、保険料負担金、保険基盤安定負担金、広域連合事務費負担金、保健事業費負担金です。前年度に対し5,048万7,000円の増となりました。増額の主な要因ですが、歳入でも説明したとおり、令和4年度分の未払い分を令和5年度中に支払ったことによるものです。財源ですが、一般会計繰入金で1億5,818万4,000円です。

健康保持増進事業、決算額は2,017万5,000円です。広域連合からの委託事務で、被保険者を対象に健康診査を実施しました。受診率は33.3%で、前年度より増加しています。財源ですが、広域連合支出金1,995万5,000円で、一般会計繰入金22万円です。

説明は以上です。御審査のほどよろしく申し上げます。

○委員長（森 哲士議員）

これより認第3号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で認第3号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について質疑を打ち切ります。

執行部が入替わります。

暫時休憩します。

午前9時54分 休憩

午前9時55分 再開

○委員長（森 哲士議員）

それでは再開いたします。

次、認第4号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○小坂診療所管理課長（田立雅宏）

それでは、私のほうから認第4号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について説明いたします。

初めに、事務事業実績報告書の275ページを御覧ください。

歳入歳出の状況について説明いたします。

初めに、歳入の状況でございます。

歳入合計は総額2億4,161万7,000円となり、前年度と比べ3,610万1,000円の減額となりました。主なものについて説明いたします。

収入の根幹となるサービス収入は1億2,186万7,000円となり、前年度と比べ1,500万2,000円の増額となりました。内訳は、小坂老人保健施設分が1億621万7,000円、前年比1,374万9,000円の増額、居宅予防サービス計画分が1,565万円、前年比125万3,000円の増額といずれも増額しております。

小坂老人保健施設につきましては、利用率が令和4年度65.2%から令和5年度79.1%に伸びたことが影響しています。理由は、令和4年度に実施した空調設備更新が終了したことと、老人保健施設の経営戦略を策定し、それに基づいて入所率向上に努めたことによるものです。居宅予防サービス計画分につきましては、要支援者数の増加により介護予防支援の利用者数が増えたことによるものです。

中ほどの繰入金は、一般会計からの繰入金で、決算額は1億157万9,000円となり、前年度と比べ1,593万6,000円の減額となりました。

次に、歳出の状況について説明いたします。

歳出合計総額は2億2,690万7,000円となり、前年度と比べ3,356万3,000円の減額となりました。前年度と比べ決算規模が大きく減少した主な要因は、令和4年度に実施した施設整備に係る歳入歳出が皆減したことによることが大きく影響しております。

歳出の詳細につきましては、予算決算常任委員会説明資料に基づき説明いたします。

説明資料50ページを御覧ください。

小坂診療所管理課、継続事業になります。

小坂老人保健施設一般経費、決算額2,566万2,000円でございます。こちらは、小坂老人保健施設の維持管理に要した経費でございます。

続きまして、小坂老人保健施設介護サービス事業費、決算額が1,009万1,000円でございます。こちらは、会計年度任用職員2名の人件費を含む小坂老人保健施設の介護サービスの提供に要した経費でございます。主な増減理由でございますが、診療所から配置換えした看護師による増額363万5,000円、医薬材料費の増123万7,000円となっております。

最後になります。

市債償還元金301万3,000円でございます。こちらは、施設整備等に係る市債元金の償還金でございます。

私のほうからの説明は以上となります。御審査のほどよろしく願いいたします。

○高齢福祉課長（竹田 太）

引き続きまして、高齢福祉課の継続事業の説明に移らせていただきます。

居宅予防サービス計画事業2,173万2,000円。包括支援センターが指定事業所として介護予防ケアプラン作成や給付管理を行うための経費になっております。主な財源は、繰入金1,419万8,000

円です。

高齢福祉課分は以上となります。

続きまして、財産に関する調書につきましての説明に移らせていただきます。

決算書の233ページを御覧ください。

土地及び建物、物品に関しても年度内の増減はございませんでした。

介護サービス事業勘定の説明は以上となります。御審査のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、認第4号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について質疑を行います。

質疑はありますか。

○委員（今井政良議員）

おはようございます。

ちょっと1点だけ教えてください。

小坂の施設利用の状況を先ほど説明いただきました。稼働率も非常に伸びておるということがあります。職員の方、一緒に頑張っていたんでないかと思いますが、何か特別な、要件というか、ことがあったら教えてください。

○小坂診療所管理課長（田立雅宏）

利用率が伸びた主な要因ということでございますが、ここ数年の利用率は70%台後半で推移しておりました。特段、令和4年度が少なかったということになっております。こちらの主な要因は、空調設備工事を老健、診療所等も併せて行いまして、その際、居室のエアコンについても改修を行うものですから、一時的に入所制限をせざるを得ないような状況となっておりました。そこと比較して、令和5年度につきましては、通常に戻ったことに加えて経営戦略を策定しまして、職員一丸となって経営改善に取り組もうということで、入所率の向上に努めまして、現在に至っておるということでございます。

○委員（今井政良議員）

空調設備を完了したということで、そういった要件もあったということですが、看護師さん1人というようなことで対応されている経費を見ますと、非常によくやっていただいたんでないかなと思います。こういった施設というのは、やっぱり入所される方とのコミュニケーションは非常に大事なことです。やっぱり預かるほうもそうですし、預けるほうもそうだと思いますが、どうかこの施設が長く維持できるようにお願いします。ありがとうございました。

○委員長（森 哲士議員）

ほか、ありますか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で認第4号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について質疑を打ち切ります。

続いて、認第5号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○高齢福祉課長（竹田 太）

令和5年度介護保険特別会計（保険事業勘定）決算につきまして御説明申し上げます。

まず、実績報告書の279ページをお願いいたします。

歳入歳出の状況について、主立ったものをお伝えさせていただきます。

歳入の状況は、保険料が6億6,864万7,000円で、前年度に対しまして723万6,000円の減となっております。被保険者数の人数といたしましては、令和5年度は191人の増となっておりますが、所得段階での被保険者数の増減が収入額に影響しているというふうに見ております。

続きまして、285ページを御覧ください。

第8期の保険料額につきましては、表のとおりでございまして、全ての所得段階におきまして令和3年度から令和5年度までが同額の保険料という形になっております。

続いて、279ページにお戻りください。

歳入の説明になります。

続いて、国庫支出金です。

国庫支出金の合計は9億6,192万2,000円で、96万2,000円の増となっております。支払基金交付金は9億2,346万9,000円で、1,152万6,000円の増。県支出金は5億2,390万6,000円で、731万4,000円の増。これらの歳入につきましては、前々年度の給付費の状況に応じて増減があるものでございます。

繰入金は6億1,777万9,000円で、2,271万8,000円の減。給付費に対する繰入れのほかに、基金や事務費の繰入れも含まれております。

令和4年度決算に基づく繰越金が2億623万3,000円で、4,277万9,000円の増。

歳入合計は39億729万6,000円で、3,676万3,000円、前年度対比で0.9%の増となっております。

続いて、歳出の状況でございます。

総務費は1億3,555万円で、119万4,000円の減。人件費などの義務的経費が主な内容でございます。

保険給付費は33億2,234万7,000円で……。

[発言する者あり]

すみません、総務費につきまして訂正をさせていただきます。1億3,554万9,000円。

保険給付費が33億3,177万1,000円となっております。訂正をさせていただきます。

増減が4,637万1,000円です。失礼いたしました。

給付費の状況につきましては、後ほど説明をさせていただきます。

続きまして、地域支援事業費が1億13万円で、1,188万3,000円の増となっております。

続きまして、基金積立金が1億253万4,000円で、5,885万円の減。国・県への支出金が8,448万

円で、4,867万7,000円の増。

歳出合計が37億5,446万4,000円で、9,016万4,000円、2.5%の増となっております。

続いて、掲載資料の説明をさせていただきます。

280ページを御覧になってください。

こちらは、各年10月時点の要介護・要支援認定者の状況となっております。

合計欄の人数といたしまして、令和4年度からは横ばいの状況が続いております。要介護3以上の認定者数は減少傾向をたどっておりますが、要支援から要介護1の対象者の増加が目立っております。

281ページ、282ページにつきましては、各年10月時点での要介護度別のサービス利用者数及び利用率となっております。

283ページは、各年の介護給付費の給付状況となっております。

表の2段目に令和4年度と令和5年度の記載がございます。そちらを御覧ください。

令和4年度と比較して給付費の伸びの大きいものの説明をさせていただきます。

表の2段目、短期入所サービスが、令和4年度と比較しまして857万8,615円の増、そして4段目、施設サービスが4,800万5,516円の大きい増となっております。

一方、大きな減となっているものは、表の一番上、訪問通所サービスの1,487万1,673円の減、そして下から2番目、地域密着型介護サービスで365万221円の減となっております。

増額となった主な要因といたしましては、短期入所サービスにつきましては、市内の利用が伸びております。これは、令和4年度にコロナの影響でショートステイの受入れに制限があったというようなことが大きかったというところの反動というふうに考えております。

施設サービスにおきましては、市内及び市外の施設利用が伸びております。市内で前年比で11%、市外で前年比15%給付費が伸びているというところになっております。市内施設につきましては、ベッド数は変わりはないんですけども、短期入所同様、コロナの影響で入所制限等が令和4年度にあった反動と思われまます。

減額となった主な要因に移らせていただきます。

訪問通所サービスでは、通所介護で前年比で4.5%の減、訪問介護で2.9%ほどの減となっております。地域密着型介護サービスにおいては、認知症対応型共同生活介護などで給付費が1.3%ほど下がっております。

訪問通所サービスと地域密着型介護サービスのデイサービスの減の主な要因については、主に社会福祉協議会に指定管理をしていただいているデイサービスセンターの給付費が下がっているというところが大きな要因と考えております。稼働率自体も低下をしておりますし、介護度が軽度の方の利用が増えてきているということになっていきますと、やはり単価が下がってまいりますので、そういったことも給付額に影響しているというふうに考えております。

284ページからは保険料に係る資料となっております。

287ページは、所得階層別の人数と保険料の調整率を掲載させていただいております。

それでは、歳出予算事業説明に移らせていただきます。

予算説明資料の51ページを御覧ください。

拡充事業といたしまして、一般管理諸経費1,052万7,000円で、408万8,000円の増は、介護保険事業運営に係る諸経費になります。第9期介護保険事業計画策定経費及び制度改正に伴うシステム改修により大きく増額となっております。

続いて、見直し事業に移ります。

296万4,000円で、166万8,000円の減。昨年度は給付適正化システムの導入経費があったことが減額の主な要因です。

続いて、一般介護予防事業費85万5,000円で、71万6,000円の減。昨年度の介護給付データ分析システムに関する事業委託がなかったことによるのが減額の要因です。

続いて、継続事業に移ります。

賦課徴収費が449万8,000円。賦課徴収に係る各種用紙、郵便料等経費になります。

その下、介護認定審査会費713万3,000円。介護認定審査会の経費となっております。

認定調査費が2,319万4,000円。認定調査に係る経費です。認定審査会の会計年度任用職員の経費や主治医意見書費用が主なものです。

ここからは給付費予算になります。

給付費については、主立った増減は先ほどの説明のとおりとなっております。

居宅介護サービス給付費が11億2,856万5,000円。在宅介護サービスに係る給付です。デイサービスやショートステイなどが含まれます。

特例居宅介護サービス給付費308万6,000円は、介護認定が下りる前に利用した居宅介護サービスに対しての給付になります。

地域密着型介護サービス給付費6億4,931万2,000円。地域密着型のカテゴリーになる介護サービスに対する給付です。地域密着型のデイサービスセンターや小規模多機能、グループホームなどが含まれます。

施設介護サービス給付費11億3,153万3,000円。施設系介護サービスの給付です。特養や老健などになっております。

居宅介護福祉用具購入費が435万5,000円。特定の福祉用具購入に対しての償還給付です。

居宅介護住宅改修費914万8,000円は、特定の住宅改修に対しての償還給付になっております。

居宅介護サービス計画給付費2億232万6,000円。要介護認定者のケアプラン作成等に係る給付でございます。

介護予防サービス給付費が3,883万4,000円。要支援認定者の在宅サービスに係る給付です。介護予防のデイサービスやショートステイなどになっております。

介護予防住宅改修費が388万3,000円。要支援認定者の実施する特定の住宅改修に対する給付になります。

介護予防サービス計画給付費が1,574万2,000円。要支援認定者のケアプラン作成に対する給付

になります。

審査支払手数料が400万2,000円。介護報酬請求についての審査の手数料となっております。

高額介護サービス費が4,593万4,000円。要介護認定者が一定の上限を超えた場合の自己負担に対する償還給付でございます。

高額医療合算介護サービス費が882万4,000円。介護保険と医療保険の世帯合算の自己負担の上限を超えた場合の償還給付でございます。

在宅介護支援事業が942万4,000円。在宅で介護してみえる方への在宅介護支援券の発行経費となっております。

特定入所者介護サービス費が7,502万8,000円。低所得の方の利用した介護サービス費に対して、上限額を超えた額に対する給付です。

生活支援体制整備事業費600万円は、介護予防の推進やボランティア育成などの生活支援サービスの創出を実施している生活支援コーディネーターの設置経費となっております。

介護予防・生活支援サービス事業費が8,553万1,000円。総合事業として取り組んでいる通所Aなどに係る経費となっております。

介護予防ケアマネジメント事業費が386万6,000円。要支援認定者のケアプラン作成に係る経費です。

介護保険基金費が1億253万4,000円。令和4年度決算に基づく基金への積立てになっております。

償還金が6,695万1,000円も令和4年度決算に基づく国・県への返還金です。

一般会計繰出金が1,716万5,000円につきましても、同様に令和4年度決算に基づく一般会計への繰り出しとなっております。

介護保険事業勘定の財源につきましては、予算決算常任委員会説明資料の53ページに一覧表を掲載しております。

国県支出金や繰入金、支払基金交付金等につきましても、充当率がそれぞれ定められておりますので、その基準に基づきまして計上をさせていただきます。

○委員長（森 哲士議員）

すみません、53ページ出ますか、シェアモード。

お願いします。

○高齢福祉課長（竹田 太）

すみません、53ページを御覧ください。

国県支出金や繰入金、支払基金交付金につきましては、それぞれ充当率が定められておりますので、その基準に基づきまして計上をさせていただきます。

続きまして、財産に関する調書についての説明に移らせていただきます。

今度は決算書の234ページを御覧ください。

基金につきましては、令和4年度末残高が5億9,998万3,741円でしたが、決算年度中で5,575

万4,000円の増となっております、年度末残高は6億5,573万7,741円となっております。令和4年度の給付費の減少による繰越金の増などが大きく影響しておるといふふうに思っております。介護保険事業勘定の説明は以上となります。御審査のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、これより認第5号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）決算の認定について質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（中島ゆき子議員）

ちょっとタブレットのほうの数字が直っていないみたいでして、先ほどの279ページですけど、高齢福祉課長が最初に話された、例えば総務費ですけど、1億3,555万というのが正解で、タブレットの数字がちょっと直っていないのが、この歳出の状況全部が直っていないんですけど、これは数字的には、というところだと思いますので。

○高齢福祉課長（竹田 太）

申し訳ございません。読み上げのものが正式でございまして、ちょっとタブレットの数字訂正ができていなかったようでございます。おわびをさせていただきます。

〔「あっておるよ」と呼ぶ者あり〕

タブレットは正しいんだ。紙のもの……。

〔「紙の方じゃない」と呼ぶ者あり〕

タブレットを読み上げさせていただいて、タブレットの数字が正しいものとなっております……。

○委員長（森 哲士議員）

合っておるんやね。

○高齢福祉課長（竹田 太）

はい。

○委員長（森 哲士議員）

この数字は今直っておるんですね。これは直っていますよね。

○高齢福祉課長（竹田 太）

タブレットの数字は直っておるものでございます。これは最終の数字でございます。申し訳ございません。

○委員長（森 哲士議員）

よろしいですか。

〔「タブレットは直っていない」と呼ぶ者あり〕

直っていますよね、タブレットの数字。

もう一回、じゃあここを、すみません、歳出のほうでちょっと間違っておったんですね。歳入のほうもでしたか。

〔「歳出」と呼ぶ者あり〕

歳出ですよ。

歳出をもう一回、じゃあ課長、すみません、説明してもらえますか。

○高齢福祉課長（竹田 太）

申し訳ございません。

では、歳出のほうの説明を再度させていただきます。

総務費につきましては、1億3,554万9,000円で、119万4,000円の減となっております。

○委員（尾里集務議員）

すみません、今のところですけど、訂正で来ていて、総務費の今の歳出が1億3,555万ちょうどなんですけど、数字が。その下の保険給付費が33億2,234万7,000円という数字なんですけれども、訂正として。すみません、8月26日に事務局から訂正の文書が来ているんですけど。こっこの、今の入っているタブレットのほうの数字が前の数字なのか、これが本当なのかという感じがします。

○福祉部長（小澤和博）

今し方御指摘いただいたタブレットのこの表題の歳出の状況について再確認させていただいて、正しい数字を御報告させていただきますので、お願いします。

○委員長（森 哲士議員）

では、質疑を始めます。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは質疑を行います。

ほかにありませんか、質疑のほう。

〔挙手する者なし〕

ないようですので、以上で認第5号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）決算の認定について質疑を打ち切ります。

続きまして、認第6号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について審査を行います。

○小坂診療所管理課長（田立雅宏）

それでは、私のほうから認第6号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について説明いたします。

初めに、事務事業実績報告書の303ページを御覧ください。

歳入歳出の状況について説明いたします。

最初に、歳入の状況についてです。

歳入合計総額は3億2,502万4,000円となり、前年度と比べ5,876万7,000円の減額となりました。

主なものについて説明いたします。

診療収入は1億7,940万1,000円となり、前年度と比べ929万4,000円の増額となりました。この

要因は、小坂診療所の入院収入と介護収入の増収が大きく影響しています。

繰入金は1億1,324万2,000円となり、前年度と比べ2,159万2,000円の減額となりました。この内訳は、一般会計繰入金として8,869万3,000円、他会計繰入金、国民健康保険特別会計からの調整交付金として2,454万9,000円となっております。

次に、歳出の状況について説明させていただきます。

歳出合計総額は3億238万4,000円となり、前年度と比べ6,173万1,000円の減額となりました。前年度に比べ決算規模が大きく減少した主な要因は、令和4年度に実施した空調設備改修工事を含む施設整備費に係る歳入歳出が減額したことが大きく影響しております。

それでは、歳出の詳細につきまして、予算決算常任委員会説明資料に基づき説明いたします。

説明資料54ページを御覧ください。

小坂診療所管理課、継続事業になります。

小坂診療所一般経費、決算額3,063万5,000円です。こちらは、小坂診療所の維持管理に要した経費でございます。主な増減理由でございますが、空調設備をガス式から電気式に変えたことによるガス代の減額195万7,000円、電気料単価の減額による電気代の減116万3,000円の減額が主なものとなっております。

続きまして、小坂診療所医療事業でございます。決算額が7,285万円。こちらは、会計年度任用職員12名の人件費を含む小坂診療所の医療・介護サービスの提供に要した経費でございます。増減理由でございますが、フルタイムからパートタイムに変更した看護師及び介護サービス事業へ配置換えした看護師による減額509万9,000円が主な要因となっております。

続きまして、馬瀬診療所医療事業です。こちらは決算額621万2,000円。事業概要ですが、会計年度任用職員3名の人件費を含む馬瀬診療所の医療サービスの提供に要した経費でございます。増減理由としましては、前年に行ったレセプトシステムの更新の費用が減額となっております、359万4,000円影響しております。

続きまして、診療所機器整備事業でございます。決算額が1,099万6,000円でございます。こちらは、小坂診療所の機器の購入、更新に要した経費でございます。内訳としましては、一般レントゲン撮影装置1台814万円、低周波治療器1台220万円ほかとなっております。こちらには、財源としまして、過疎債540万円、県補助金443万9,000円を充当しております。

続きまして、市債償還元金です。決算額726万4,000円。こちらは、施設整備・機器整備等に係る市債元金の償還金でございます。

最後になりますが、一般会計繰出金、決算額が1,967万7,000円。こちらは、令和4年度からの繰越金確定に伴う一般会計への繰出金でございます。

最後になります。

決算書235ページを御覧ください。

財産に関する調書について説明させていただきます。

公有財産につきましては、期中の動きはございません。

物品に関しましては、期中に廃車した公用車1台の減、更新した小坂診療所のレントゲン一般撮影装置、低周波治療器をそれぞれ減と増で計上させていただいております。

3番、債権につきましてですが、看護職員就職準備資金貸付金につきましては、1名が免除上限の2年の勤務をいただいたため返済免除といたしました。これで決算年度末での貸付残高はゼロ円となりました。

4番、基金についてでございます。国民健康保険診療所基金の昨年度の利子3万8,000円について積立てを行ったものでございます。

説明は以上でございます。御審査のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

これより、認第6号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（大西尚子議員）

実績報告書の304ページをお願いいたします。

こちらの小坂診療所医療事業に対してのことなんですが、職員のほうをフルからパートに変更したということを知りましたが、医療提供するという点に関しては支障はないのでしょうか、教えていただきたいです。

○小坂診療所管理課長（田立雅宏）

職員給与費はここには載っておりませんので、会計年度任用職員の報酬と給与についてこちらに記載させていただいております。

先ほど委員から御指摘がございましたフルからパートに変えたことによる医療提供体制への影響ということですが、看護師さんのそれぞれの個人の働き方に、ちょっと年齢を増してきたものだから働き方をちょっと考えたいという申出がございました。外来の看護師はほかにも数名おりますので、そちらで補っておりますので、医療提供体制に直接影響することはございません。そのステージに応じて働き方を変えていくということは、今後も継続していきたいというふうに思っております。

○委員長（森 哲士議員）

ほかにありますか。

○委員（尾里集務議員）

すみません、度々申し訳ございません。

多分タブレットのほうが変わっていないんだと思うんですけど、305ページの小坂診療所医療事業の給料の会計年度任用職員の看護師が、今これは3名となっておると思うんですけども、訂正では2名というふうに来ています。

それと、あと305ページの下の診療所機器整備事業の、これまた細かい話ですすみません、県の補助金の括弧のへき地何ちゃらというところが、へき地診療所設備整備……。

〔「事業」と呼ぶ者あり〕

整備費補助金というふうに「事業」じゃなくて「整備費」になっておるんです。この訂正というふうに来ているんですけども、その辺、ちょっとまた後で訂正していただければというふうに思いますので御確認をお願いします。

○小坂診療所管理課長（田立雅宏）

今御指摘いただいたところに関しましては、私どものほうで資料を訂正した記憶がございます。訂正はさせていただいておりますが、どちらが今示されているほうに行っているのかということがはっきり分かりませんので、こちらも先ほどの介護保険のほうと併せて確認して、後日また報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

ほか、ありませんか。

〔挙手する者なし〕

それでは、以上で認第6号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について質疑を打ち切ります。

休憩をいたします。再開は10時50分といたします。

午前10時38分 休憩

午前10時50分 再開

○委員長（森 哲士議員）

それでは再開いたします。

これより認第5号、認第6号について、先ほどのタブレット等の整合につきまして、議会事務局長のほうから説明をいたします。

○議会事務局長（田添 誠）

先ほどの介護保険特別会計と国保診療施設勘定の修正のいきさつについて説明をいたします。

担当課から正誤表ということで頂いております、それを議員さんへ渡しております。そして、タブレットの資料ですけれども、このタブレットのシェアモードとプライベートモードという切替える部分がありまして、こちらで修正をするときにシェアモードではなくてプライベートモードに修正をしてしまったということで皆さんへ配信しておるシェアモードのほうは数字が置き換わっていなかったというのがこのいきさつであります。おわびをいたします。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、説明のほうをよろしくお願いいたします。

○高齢福祉課長（竹田 太）

ただいまの説明のとおりでございます、タブレットに表示されている数字、正誤表が反映されていないものが表示をされておましてそちらと手持ちの資料、説明するものが別でしたので混乱をしておまして申し訳ございませんでした。

正しい数字の読み上げをさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

資料の279ページになります。

総務費、決算額が1億3,555万円で、マイナスの119万3,000円でございます。

保険給付費は33億2,234万7,000円で、3,694万7,000円の増となっております。

基金積立金が1億253万4,000円で、588万5,000円の減。

国・県への諸支出金が8,448万円で、4,867万7,000円の増で、歳出合計は変わらずという形になっております。

プライベートモード、タブレットのほうで出ておるところで、市町村特別給付がゼロ円という形で間違っておりました。こちら、決算書のほうでは保険給付費に含まれて、この在宅介護支援券のお金も上がってはおりますけれども、決算の説明上は分けたほうが分かりやすいということで、今まで分けて説明をさせていただいておりましたので、こちらを分けて資料を修正させていただいたんですけれども、それが正誤表のほうでうまく反映できていなかったというところがございます。

以上を説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○小坂診療所管理課長（田立雅宏）

認第6号につきましても、修正がタブレットのほうで反映されていなかったということで、先ほど私が読み上げた数字が正しいもので、正誤表の正の数字を読み上げておりますことを報告させていただきます。以上でございます。

○委員長（森 哲士議員）

何かありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので次に、昨日、建設課からの答弁の中の修正があるということですので、答弁のほうをよろしくお願いたします。

○建設課長（中田 誠）

昨日の予算決算常任委員会におきまして、交通安全対策事業で実施しました宮地36号線路側カラー工事につきまして、7番の驚見委員からカラー舗装の仕様について質問をいただき、変更の協議について請負業者と地元と相談する中でカラー舗装の工法を変更したと発言しましたが、地元の協議につきましては誤りでした。正しくは、請負業者と市との間で工法について協議して変更を行いました。誤った発言をしたことをおわびし、訂正いたします。大変申し訳ありませんでした。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、続きまして、昨日、消防関係につきまして、詰所の木質の補助についての訂正がありますので、よろしくお願いたします。

○消防総務課長（中田邦博）

昨日、中島委員の質問に対しまして保留にさせていただきました件につきまして、回答させていただきます。

実績報告書の233ページになります。

消防詰所整備事業から、2つ目の質問になりますが、以前、金山東沓部の消防詰所の新築のときに、岐阜県の木造の補助金があって、木造でなければならないとのことで木造になりましたが、現在は木造の補助制度はあるのかないのかと、そういった御質問がありました。これにつきましては補助金がございます。岐阜県産材の利用促進施設等整備事業実施要領に定める補助金がございます。

下呂市の消防詰所の新築方針でございますが、構造は下呂市公共施設等における木材利用方針に基づきまして、原則ですが木造としております。ただし、土地の状況及び増改築等の状況によっては鉄骨造も考慮しておるところでございます。

1つ目の質問で、萩原上区の消防詰所の新築工事で、こちらは木造だったのかというようなところで、鉄骨造2階建てとなりますということですが、これについて、萩上の消防詰所が鉄骨造になったところの経緯なんですけれども、萩原の中区、下区に鉄骨造の消防詰所があるんですけれども、そこに隣接させて、将来的に統合を見据えて詰所の結合を考慮した結果、鉄骨造となった経緯でございます。以上でございます。

○委員長（森 哲士議員）

12番、よろしいか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、認第7号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○下呂振興事務所長（熊崎龍毅）

それでは、認第7号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について説明をさせていただきます。

最初に決算の収支状況について説明しますので、事務事業実績報告書の308ページをお願いいたします。

決算収支の状況です。

令和5年度歳入総額646万2,000円、前年比12.2%の減です。

歳出総額412万1,000円、前年比40.4%の減です。こちらは主に基金の積立ての減によるものです。

令和5年度の実質収支は翌年度に繰り越すべき財源はないため、歳入歳出の差引き額の234万1,000円となりました。

続きまして、309ページをお願いします。

歳入の状況です。

主なものについて説明をさせていただきます。

財産収入、令和5年度決算額107万8,000円。こちらは土地の貸付収入、立木の売払い収入が主

なものとなっております。

繰入金、令和5年度決算額460万円。こちらは下呂財産区管理運営基金の繰入れとなっております。

続きまして、歳出につきましては、予算決算常任委員会資料の55ページをお願いいたします。

こちらについては決算額が少額でございますので、説明については省略をさせていただきます。資料のほうを御確認よろしく申し上げます。

続きまして、財産に関する調書について説明をさせていただきます。

こちらにつきましては、歳入歳出決算書の236ページをお願いいたします。

まず、公有財産です。

(1)土地及び建物のうち山林につきましては、資料の再調査の結果、正しい面積に修正したため、1,100平方メートルの増加となっております。年度末現在高は618万5,972平方メートルとなります。

続きまして、(2)の山林についてですが、こちらは調書のとおりですので、御確認をお願いします。

続きまして、(3)です。出資による権利につきましては、決算年度中の増減はございません。

2番の基金につきましては、決算年度中の取崩し額が460万円、基金利子の積立てが4万9,000円により、決算年度中455万1,000円の減額となっております。年度末残高は9,710万2,655円となりました。

説明は以上です。御審査のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、これより認第7号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で認第7号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について質疑を打ち切ります。

執行部入替えのため暫時休憩いたします。

午前11時02分 休憩

午前11時03分 再開

○委員長（森 哲士議員）

再開いたします。

認第8号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○学校給食センター所長（今井健人）

認第8号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について説明させていただきます。

決算収支の状況から説明させていただきます。

令和5年度歳入総額1億4,714万9,000円、歳出総額1億4,652万1,000円、歳入歳出差引き62万8,000円となります。

歳入の状況になります。

繰入金4,619万8,000円となります。

内訳としましては、要保護準要保護児童生徒就学援助の給食費補助となります。こちらは535万4,000円となります。続きまして、学校給食地産地消推進事業168万2,000円、学校給食負担軽減支援事業1,050万円、学校給食無償化事業2,866万2,000円が繰越金となります。繰越金の合計がこちらで、4,619万8,000円となっております。

〔「繰入金と書いてある」と呼ぶ者あり〕

繰入金になります。ごめんなさい。

続きまして、繰越金です。こちらは59万5,000円となっております。こちらは前年度の余剰金を繰り越したものとなっております。

諸収入としまして1億35万6,000円となっております。こちらは児童・生徒、教職員などの給食費について、現年度負担収入分及びその雑入となっております。給食費負担収入現年度分は、令和4年度と比べ、児童・生徒数の減少に加え、新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用した学校給食無償化事業などを実施したため、児童・生徒1人につき50食分の給食費を無償化したことなどにより、前年度と比較すると2,958万7,000円の減額となっております。

給食費の収入の総額につきましては、1億6万7,048円となっておりますが、こちら収入未済額はゼロ円となっております。全ての方が完納されております。

あと、その他雑収入としまして28万8,000円としまして、廃油の買取りや灯油缶などの買取りの金額を計上させていただいております。

次に、歳出状況について説明させていただきます。

委員会説明資料の56ページをお願いいたします。

南部学校給食センター、決算額2,317万1,000円。下段、北部学校給食センター、決算額1億2,300万5,000円となっております。

事業概要は同じなので、まとめて説明させていただきます。

この2つの事業の支出の主なものは、市内の小学校9校、中学校6校、県立下呂特別支援学校1校の合計16校の学校給食の食材購入費であります。

主な財源は、一般会計からの繰入金と、あと給食費の諸収入となっております。

学校給食費特別会計の説明は以上になります。御審査のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

今答弁するんですか。質疑の後でいいんですか、質疑の前。

〔「前で」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、質疑の前で、昨日の委託料に関する説明をお願いいたします。

○教育委員会事務局長（山中明美）

昨日の2番委員の御質問にお答えをさせていただきます。

事務事業の実績報告書241ページでございます。

小学校屋内運動場改修事業につきまして、決算額66万2,000円と当初予算額との差異について御説明をさせていただきます。

令和5年度の当初予算では、小学校の屋内運動場をLED照明にするための実施設計業務委託料として318万6,000円を計上しておりましたが、この予算は全額6年度に繰越しをしております。

また、決算額である66万2,000円につきましては、令和5年9月に85万円を補正予算計上して実施したものでございます。こちらは馬瀬小学校体育館の倉庫整備及びトイレのバリアフリー改修などを行うための実施設計業務委託料でございます。

なお、繰越しにつきましては、決算書129ページの最下段になります。最下段に、2項小学校費、1目学校管理費、12節委託料というところに繰越明許費として318万6,000円が計上されております。

また、同じく決算書131ページの中段、3項中学校費、1目学校管理費、12節委託料に繰越明許費として、中学校費のほうの317万7,000円が計上されております。中学校費については、ほかに執行額がありませんでしたので実績報告書の事業報告がございません。

以上が、小学校屋内運動場改修事業の決算額と当初予算との差異に関する説明でございます。

○委員長（森 哲士議員）

2番、桂川委員、よろしいか。

それでは、認第8号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について審査を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で認第8号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計決算認定について質疑を打ち切ります。

それでは、認第9号 令和5年度下呂市水道事業会計決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○上下水道部長（今村正直）

まずもって、水道事業会計及び下水道事業会計の決算説明に先立ちまして、大変申し訳ないんですが、両事業とも決算書附属資料の一部を訂正させていただいております。いずれも計算誤りや用いる数値の誤りによる訂正でございます。訂正前の資料を御確認いただいた方には疑義を持たれた方もいるかと思いますが、大変御迷惑をおかけしましたこと、おわびして訂正をさせていただきます。誠に申し訳ございませんでした。

なお、これから御覧いただくタブレットの資料については訂正後の数値となっておりますが、紙ベースで印刷された方も見えるかと思っておりますので、改めて訂正箇所を説明させていただきます。

まず、水道事業会計は、公営企業会計決算書の7ページを御覧ください。

下段にあります、ウの収益的収支の状況の最後の行にあります当年度の純損失の数値を、訂正前3億4,000万3,415円を御覧のとおり、訂正後4億536万9,806円に訂正しております。

また、その下段にあります、エ、資本的収支の状況の1行目の一般会計出資金等の合計の数値、訂正前4億5,028万1,000円を訂正後4億3,942万1,903円に訂正しております。

続いて、下水道事業会計は33ページを御覧ください。

経営指標の推移という表中、令和5年度の経費回収率、訂正前は37.4%となっておりましたが、御覧のとおり39.8%に訂正をしておりますのでよろしく申し上げます。以上です。

では、水道事業会計から説明をさせていただきます。

○委員長（森 哲士議員）

お願いします。

○水道課長（岩田考広）

説明資料の27ページをお開きください。上下水道部、説明資料の27ページをお開きください。

〔「57じゃないですか」と呼ぶ者あり〕

そうです。予算決算常任委員会説明資料。

〔「57」と呼ぶ者あり〕

一般会計のほうですので、まず27ページです。

○委員長（森 哲士議員）

27ページですね。

○水道課長（岩田考広）

それでは、上下水道部水道課、継続事業です。

水道事業会計繰出金、補助金です。決算額7,456万1,000円、3,960万1,000円の増額です。簡易水道事業に係る基準内1,508万9,000円、基準外1,481万3,000円の繰出金です。充当先となる企業債利息の減少に伴い、基準内、基準外は減額です。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、水道料金の2月、3月使用分の基本料金の減免を実施しました。これに充当する金額は4,465万9,000円で、実際の前年度に対する増減は505万8,000円の減額になります。

次に、水道事業会計繰出金、投資及び出資金です。決算額2億9,954万2,000円、2,149万6,000円の減額です。簡易水道事業に係る出資金です。充当先となる企業債元金の減少に伴う減額です。一般会計は以上となります。

続きまして、説明資料の57ページをお開きください。

水道事業会計、収益的収支、収入です。

水道料金、決算額6億958万1,000円、4,684万8,000円の減額です。この決算額6億958万1,000円とコロナ交付金の基本料金分4,324万8,000円を合わせた6億5,282万9,000円が実際の料金収入となり、前年度に対する増減は360万円の減額となります。

次に、一般会計補助金、決算額7,456万1,000円、3,960万1,000円の増額です。充当先となる企

業債利息の減少に伴い、基準内、基準外の減額です。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金分として4,456万9,000円の増額です。

次に、一般会計出資金、決算額2億9,954万2,000円、2,149万6,000円の減額です。充当先となる企業債元金の減少に伴う減額です。

次に、長期前受金戻入、決算額2億1,551万2,000円、634万9,000円の増額です。資産の減価償却費に含まれる補助金等相当額を収益化するという地方公営企業会計の制度に基づいた過去の補助金等です。

次に、継続事業です。

営業費用、原水及び浄水費、委託料、決算額2億9,076万1,000円、3,096万6,000円の増額です。包括委託等における浄水施設の修繕等の増加によるものです。

次に、営業費用、配水及び給水費、委託料、決算額1億7,057万1,000円、3,689万3,000円の増額です。包括委託業務における配水施設の修繕や、配水管及び給水管の漏水修繕の件数の増加によるものです。

営業費用、総係費、委託料、決算額1億1,649万3,000円、733万8,000円の増額です。システム保守管理業務における人件費の高騰や業務支援の新規契約による増加です。

次に、営業費用、減価償却費、決算額5億5,908万3,000円、3,255万6,000円の減額です。固定資産の減価償却費です。

次に、営業外費用、支払利息、企業債利息、決算額4,114万3,000円、545万8,000円の減額です。続きまして、説明資料の58ページをお開きください。

資本的収支、収入です。

企業債、決算額7,580万円。

○委員（中島ゆき子議員）

委員長、ごめんなさい。説明資料で言ってみえるけど、公営企業の決算書のどこを見ればいいのか全然分からないんですけど。

○委員長（森 哲士議員）

タブレットのほうですよ。

○委員（中島ゆき子議員）

タブレットは、説明書で動いておるので実際の公営企業決算書のどこが当てはまるかが全然分からないんです。

○委員長（森 哲士議員）

タブレットの画面を変えればいいのかということですよ。すみません。変わっていないということですので、今暫時休憩します。それで調整しますので休憩いたします。

午前11時34分 休憩

午前11時39分 再開

○委員長（森 哲士議員）

それでは、再開をいたします。

認第9号 令和5年度下呂市水道事業会計決算の認定について審査を行いたいと思います。

説明をお願いいたします。

○上下水道部長（今村正直）

それでは、最初から説明をさせていただきます。

まず、説明資料の57ページ、給水収益の水道料金でございます。決算書では17ページになります。なお、この説明資料は税込み、決算書は税抜きになっておりますので金額が大分違うと思いますが、それは御理解の上、見ていただきたいと思います。

まず、給水収益、水道料金、決算額6億958万1,000円、前年比4,684万8,000円の減額でございます。

この減額の主な理由は先ほど説明しましたが、コロナ交付金の関係で基本料金を減額したため、料金収入としては減額になっておるといものでございます。

続いて、一般会計補助金、一般会計出資金は、先ほど一般会計で説明しておりますので割愛させていただきます。

長期前受金戻入2億1,551万2,000円は、決算書、同じく17ページになります。これは先ほど説明したとおり、公営企業会計制度に基づきました過去の補助金等になります。

続いて、継続事業、営業費用の原水及び浄水費の委託料でございますが、決算書の18ページになります。決算額は2億9,076万1,000円、3,096万6,000円の増額でございます。増額理由としましては、電気代、薬品代等の増、あるいは修繕件数が増加したための増額でございます。

続きまして、営業費用の配水及び給水費の委託料1億7,057万1,000円、前年比3,689万3,000円の増。決算書は同じく18ページになります。配水及び給水の運転管理委託料でございます。これも同じく増額理由としては、配水管及び給水管の漏水修繕の件数の増加による増でございます。

続きまして、営業費用、総係費の委託料1億1,649万3,000円、前年比733万8,000円の増額です。決算書では19ページの委託料になります。これも包括委託のうちの料金関連業務、メーター交換業務等の委託料でございますが、人件費の増額に伴う増額となっております。

続きまして、営業費用の減価償却費5億5,908万3,000円、前年比3,255万6,000円の減額は、決算書でいうと19ページの最下段になります。固定資産の減価償却費でございます。

続きまして、営業外費用の支払利息、企業債利息、決算額4,114万3,000円、前年比545万8,000円の減額は企業債の償還利息で、決算書は20ページになります。

続きまして、資本的収支の収入。

企業債7,580万円、前年比5,450万円の減額は、簡水の建設改良工事に伴う借入金でございます。決算書は21ページの最上段の企業債となります。

続きまして、分担金、加入分担金、簡易水道分ですが、決算額776万6,000円、前年比434万5,000円の減額でございます。簡易水道区域の加入分担金でございます。決算書は同じく21ページの分担金となります。

続きまして、継続事業の建設改良費の工事請負費8,206万4,000円、前年度比3,083万円の減額です。決算書は22ページの工事請負費になります。工事の繰越し等の増加によって減額をしたというものでございます。

その下、建設改良費の工事請負費（繰越）1億3,327万9,000円、前年比3,518万1,000円は工事費の支出で、前年度の繰越しの増額によるものです。決算書は22ページの下段の部分になります。

続きまして、建設改良費の改良費、委託料1,043万8,000円、前年比689万8,000円の増額は委託料でございます。管路耐震化工事等の委託料によって増額になったもので、決算書は22ページの委託料、建設改良費の中の委託料となります。

同じく建設改良費の委託料の繰越し、2,423万9,000円、皆増です。委託料の支出で、管路及び配水池耐震化工事等の委託業務を繰り越したためというものでございますが、決算書は22ページの最下段の委託料でございます。

続きまして、企業債償還金3億4,422万5,000円、前年比2,074万8,000円の減額は、企業債元金の償還でございます。決算書は22ページの中段ほどにあります企業債償還金となっております。

水道事業会計は以上です。審査のほどよろしく申し上げます。

○委員長（森 哲士議員）

これより認第9号 令和5年度下呂市水道事業会計決算の認定について質疑を行います。
質疑はありますか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で認第9号 令和5年度下呂市水道事業会計決算の認定について質疑を打ち切ります。

続いて、認第10号 令和5年度下呂市下水道事業会計決算の認定について審査を行います。
説明をお願いいたします。

○下水道課長（谷田部武一）

それでは、予算決算常任委員会説明資料、一般会計から御説明いたします。

説明資料27ページをお開きください。決算書は41ページでございます。

中段です。下水道課、継続事業です。

下水道事業会計繰出金、補助金です。決算額1億1,397万8,000円、508万5,000円の減額です。農業集落排水事業、小規模集合排水処理事業に係る基準内外の繰出金です。充当先となる企業債利息の減少に伴う減額です。決算書41ページの上から2行目の一般会計補助金、さらには営業外収益にあります一般会計補助金の農業集落排水及び小規模集合処理事業の分です。

次に、下水道事業会計繰出金、投資及び出資金です。決算額2億6,663万4,000円、7,768万1,000円の減額です。農業集落排水事業、小規模集合排水処理事業に係る出資金です。企業債（資本費平準化債）の借入れによる財源確保に伴う減額です。決算書は48ページです。48ページの2項出資金にあります農集と小規模に該当するものです。

次に、下水道事業会計、繰出金、補助金です。決算額1億4,537万5,000円、4,830万1,000円の

減額です。公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業に係る基準内外の繰出金です。充当先となる企業債利息の減少に伴う減額です。決算書41ページの2、一般会計補助金（基準外）、それから同じく営業外収益、一般会計補助金（基準内）の公共、特環に係るものです。

次に、下水道事業会計繰出金、投資及び出資金です。決算額5億3,478万円、2億4,536万2,000円の減額です。公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業に係る出資金です。企業債（資本費平準化債）の借入れによる財源確保に伴う減額です。

一般会計は以上です。

続きまして、説明資料59ページをお開きください。

下水道事業会計、収益的収支、収入です。

下水道使用料、決算額5億5,313万5,000円、212万1,000円の増額です。下水道使用料収入、令和5年度の有収水量が308万6,117立方メートル、前年度比6,898立方メートルの増となりました。これは公共下水道事業区域の増収によるものです。決算書41ページの営業収益、下水道使用料分です。

次に、一般会計補助金、決算額1億1,081万7,000円、2,778万8,000円の減額です。下水道事業に係る補助金（基準外）、処理場等維持管理費の減少に伴う補助金の減額です。決算書41ページの上から2番目の一般会計補助金（基準外）です。

次に、一般会計補助金、決算額1億4,853万6,000円、2,559万8,000円の減額です。支払い利息及び企業債取扱諸費に係る補助金（基準内）、充当先となる企業債利息の減少に伴う減額です。決算書は41ページの2 営業外収益の基準内のところでは

次に、消費税及び地方消費税還付金、決算額417万4,000円、107万6,000円の増額です。消費税及び地方消費税還付金416万5,000円、還付加算金9,000円です。決算書は41ページの下段のほうの3 消費税及び地方消費税還付金となります。なお、こちらは加算金のみとなっております。消費税につきましては税抜きとなっておりますので、こちらには表示されておられません。

次に、長期前受金戻入、決算額4億997万1,000円、4,653万6,000円の減額です。資産の減価償却に含まれる補助金等相当額を収益化するという地方公営企業会計に基づいた過去の補助金です。決算書のほうは、営業外収益、2項、41ページです。長期前受金戻入の欄にあります。

次に、新規事業です。

特別損失、固定資産売却損、決算額358万8,000円、皆増です。これは移動式汚泥脱水乾燥車の売却で生じた358万8,000円の固定資産除去損です。決算書は47ページの3 特別損失のところにございます。

次に、同じく特別損失、過年度損益修正損、決算額7,735万2,000円の皆増です。令和4年度の決算確定後、過充当となった一般会計繰入金7,735万2,000円を返還したことに伴う過年度損益修正損です。決算書47ページ、同じく3 特別損失の過年度損益修正損の欄です。

次に、継続事業です。

処理場費、光熱水費、決算額1億2,318万2,000円、3,508万7,000円の減額です。処理場に係る

水道料、電気料、ガス代に係る費用です。これは電気・ガス価格激変緩和対策事業に伴う減額です。決算書は43ページです。

次に、説明資料は60ページです。

処理場費、通信運搬費、決算額716万円、10万2,000円の増額です。処理場、マンホールポンプの通信運搬に係る費用です。決算書は43ページの通信運搬費です。

次に、処理場費、委託料、決算額3億9,096万2,000円、40万7,000円の減額です。処理場に係る維持管理、水質検査及び機器更新に係る費用です。決算書43ページの委託料の欄です。

次に、総係費、委託料、決算額2,239万2,000円、354万2,000円の増額です。料金関連事務、また検満メーターの交換等の包括的委託業務に係る費用です。これは包括的業務委託の人件費等の見直しによる増額となっております。決算書の45ページです。10委託料の中に含まれているものがございます。

次に、減価償却費、決算額9億8,750万9,000円、9,456万2,000円の減額です。これは固定資産の減価償却費です。決算書は46ページ、4減価償却費の欄でございます。

次に、支払利息、企業債利息、決算額1億4,853万6,000円、2,561万4,000円の減額です。これは企業債利息です。47ページの2営業外費用、企業債利息のところ です。

次に、資本的収支、収入です。

企業債、決算額3億7,600万円、皆増です。幸田浄化センター耐震対策工事委託業務9,100万円に充当する建設改良企業債4,320万円及び下水道事業債の償還期間に生じる元金償還と減価償却費の差額の一部を借り入れる資本費平準化債3億3,280万円です。決算書のページが48ページになります。企業債のところ です。

次に、負担金、決算額72万5,000円、197万5,000円の減額です。公共下水道事業に係る加入負担金です。令和5年度の新規加入件数は21件となりました。決算書の48ページ中ほどにあります負担金です。

次に、分担金、決算額670万5,000円、97万2,000円の減額です。特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、小規模集合排水処理事業に係る加入分担金です。令和5年度の新規加入件数は52件となりました。決算書48ページの4分担金の欄です。

〔「出資金」と呼ぶ者あり〕

失礼しました。出資金の欄が申し漏れましたので、もといたします。

出資金、決算額8億141万4,000円、3億2,304万3,000円の減額です。これは企業債償還金に係る出資金です。企業債資本費平準化債の借入れによる財源確保に伴う減額です。決算書のほうが48ページの2出資金の欄になります。失礼しました。

次に、国庫補助金4,775万円、皆増です。幸田浄化センター耐震対策工事業務委託9,100万円に充当する国庫補助金4,775万円です。決算書のほうが48ページの5補助金の欄及び48ページの最下段の3,850万円ということになります。

〔発言する者あり〕

国庫補助金は48ページです。48ページの5補助金、国庫補助金925万円、これと最下段にあり
ます繰越分3,850万円を合わせた金額となります。

次に、固定資産売却代金165万円、皆増です。これは移動式汚泥脱水乾燥車の車体の売却代金
です。なお、対象車両の詳細につきましては御覧のとおりです。決算書は48ページ、6固定資産
売却代金のところ です。

次に、新規事業です。

建設改良費、管渠事業費、決算額1,309万6,000円、皆増です。和田処理区の合併処理浄化槽転
換事業に係る工事費1,309万6,000円です。なお、工事の詳細につきましては御覧のとおりです。
決算書49ページ、1建設改良費の欄にございます。

次に、建設改良費、処理場事業費、決算額9,100万円、皆増です。幸田浄化センター耐震対策
工事業務委託に係る委託料です。令和4年度分の繰越金7,400万円及び令和5年度の方が1,700万
円になっております。なお、主な財源は、国庫補助金4,775万円、企業債が4,320万円です。決算
書は49ページになります。

次に、返還金、過年度返還金、決算額1,037万9,000円、皆増です。これは令和4年度決算確定
後、過充当となった一般会計繰入金1,037万9,000円を返還したことに伴う過年度返還金です。決
算書は49ページの3返還金の欄です。

次に、継続事業です。

企業債償還金、決算額11億2,412万1,000円、33万4,000円の減額です。建設改良事業に係る企
業債償還金です。令和5年度の償還件数は299件。当該年度末の残高が71億1,421万2,000円とな
っております。決算書は同じく49ページの企業債償還金です。

説明は以上でございます。御審査のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

これより認第10号 令和5年度下呂市下水道事業会計決算の認定について質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（加藤久人議員）

先ほどの水道事業もそうなんですけど、全般的にきっと消費税が込みですが、何かくちゃく
ちゃになっているというか、きっと非課税の部分であったり、課税対象になっている部分が何か一
緒になって挙げてあるんですね。ですから、この決算書と対比すると、不課税の分は込みですか
ら合っていますけれども、課税対象になっている部分は、こちらが込み、こちらは別になってい
るから数字が合わない、それが一緒のところと並べてあるものですから全然分からないというこ
とですから、これも税抜きで全部、両方税抜きで上げられれば数字がはっきり分かる状況ですの
で、水道事業も下水道事業も全く同じ。

ちょっと余談的になるんですけど、その次の合掌村会計なんかを見させてもらうと、こちらは
全部税抜きで上げてあるものですから、きちっと対比ができるんです。ですから、その辺をもう
一度見直していただいたほうがいいと思いますし、もう一点、先ほどの下水道事業の資本的収支

というか各課のほうでばらばらでしたので、それを補完する意味でこれを作ったわけですので、今の説明の中で決算の数字とこれがちょっとずれてしまっていますので、これはあくまでも補完する資料として作っていますので、決算書は間違いはないんですけども、その決算書と見比べられるように改めていきたいと思います。

○下水道課長（谷田部武一）

すみません。企業債の件でございますが、説明資料の60ページに企業債3億7,600万円と、それから決算書の48ページが合わないということの御指摘でございました。48ページの1資本的収入、企業債3億4,050万円、これに加えて、最下段にあります地方公営企業法第26条の規定による繰越し、こちらにございます企業債3,550万円、これを足したものが3億7,060万円ということになります。以上です。

○委員長（森 哲士議員）

記載のほうで、説明のほうで分かりましたか。

○委員（加藤久人議員）

今の御説明を聞きまして、この企業債の違いは分かりました。

だったらすみません、失礼なんですけれども、説明的にちょっとそれを作り変えていただけると我々もよく分かるんですけども、ただ、言われると、あれっ数字が違っているけど、どうなっているんだということですとずっと疑問に思っていますので、その辺はもう少し分かりやすい、明瞭なこういった表示していただけるとありがたい、よく分かるかなと思いますのでよろしくお願いします。

○委員長（森 哲士議員）

下水道課、答弁はいいですか。

ほかありませんか。

○委員（高井範和議員）

ちょっと似たような消費税の関係かもしれませんが、説明資料の59ページの4つ目の消費税及び還付金。こちら決算書の41ページは、決算書は880万なんですけど、ちょっと大きく違うような、こちらは何か合算とかそういったことでしょうか。

○上下水道部長（今村正直）

まず決算書、880万ではなく8,800円でございます。この違いというのは、先ほど言った決算書は税込み、この明細書は税抜きです。消費税の還付は、消費税ですのでこれから抜いておるということで、還付加算金のみここに上げさせていただいたというものです。そもそも消費税はここには入っていないということで御理解いただきたいと思います。以上です。

○委員長（森 哲士議員）

4番、よろしいですか。

○委員（鷲見昌己議員）

決算説明資料の60ページです。上から2段目、処理場委託料というところになります。これは

毎回ちょっと質問させていただいておりますが、今後、下水道料金改定が必要になってくるという中で、今の見直しに取りかかっているわけですが、支出の抑制もしっかりとしながら収入も上げていく、収益を上げていくというようなことで特に管理費等は見直す必要があるんじゃないかという質問もさせていただいております。その答弁としては、しっかりとその辺も順番に考慮しながら適正な価格になるように調整してやっていきますということでしたが、その結果が40万マイナスだったということなのか、この辺を教えてください。

○下水道課長（谷田部武一）

処理場費委託料に関しましては、通常の委託、日常的な維持管理に係る費用につきましては、これは複数年契約をしております基本的には変わらないところですが、それに関連する突発的な修繕、故障、これらについてはその関連業務として委託を行っていただいております。おおむねこの関連業務については一定ではないので、この5年度につきましては、少し前年度より少なかったという結果だと考えております。以上です。

○上下水道部長（今村正直）

ちょっと補足説明をさせていただきます。

特に契約内容等、数量等には変更はございませんが、昨年度、和田処理区が途中からなくなったということで、その分の維持費が多少安くなったということで、当然数量に変更があれば、今後もこれは見直していきたいと思っております。以上です。

○委員長（森 哲士議員）

よろしいか、ほかはありませんか。

[挙手する者なし]

それでは、以上で認第10号 令和5年度下呂市下水道事業会計決算の認定について質疑を打ち切ります。

それでは、休憩をいたします。再開は13時0分といたします。

午後0時03分 休憩

午後1時00分 再開

○委員長（森 哲士議員）

それでは、再開をいたします。

認第11号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の前に、昨日の11番委員の質問について補足がありますので、観光商工部長から説明をお願いします。

○観光商工部長（小池雅之）

昨日、観光費のところにおきまして、地域おこし協力隊の任期についての御質問がありましたので回答をさせていただきます。

地域おこし協力隊の任期はおおむね1年以上3年未満とさせていただいております。またその間、配置に係る経費、特別交付税措置がされるということになっております。市では会計年度任用職員としてこの雇用対応をしておりますので1年単位で人事評価をしながら、基本的には最長

3年間お願いをしているというものでございます。以上でございます。

○委員長（森 哲士議員）

11番、よろしいか。

○委員（尾里集務議員）

その3年目で、途中で帰られたということなのですが、1年契約をされていたと思うんですけども、その辺はそういった金額的には返金とかはなかったんでしょうか。

○観光商工部長（小池雅之）

途中での辞退について、返金とかペナルティーというものはございません。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、認第11号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○観光施設長（熊崎一彦）

認第11号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の審査に当たり、決算内容等を報告、説明させていただきます。

それでは、決算書66ページをお開きください。

令和5年度下呂温泉合掌村事業の報告書になります。

1. 概況のうち、(2)から(3)について朗読説明させていただきます。

(2)入場者の状況でございます。

総入場者数は17万9,332人で、前年度比2万9,851人の増となりました。有料入場者は17万6,850人で前年度比2万9,388人の増となり、無料入場者は2,482人で前年度比463人の増でした。また、外国人入場者は前年度の4,365人に対し1万5,771人と大きく増加し、2万136人となりました。

下呂温泉宿泊者数96万3,258人に占める入場者数の割合は18.6%となっています。

有料入場者の内訳は、個人客が前年度より2万7,029人の増の17万2,543人、団体客は2,359人の増の4,307人となりました。

一方、コロナ禍前の令和元年との比較では、個人客は上回ったものの団体客は1割に満たない状況で、団体旅行誘致が今後の課題となっております。

(3)経常収支についてです。

こちらは税抜きで金額のほうは表示させていただいております。

営業収益は2億4,848万1,066円で、前年度比4,138万364円の増となりました。営業外収益は125万4,305円で、前年度比4万3,487円の減となっています。

また、営業費用は1億8,934万7,990円で、前年度比1,625万2,629円の増となり、営業外費用9万6,860円は前年度比8万7,111円の増でした。

この結果、経常利益は6,029万521円となりました。

決算書を戻っていただいて、61ページをお開きくださるようお願いします。

こちらは損益計算書になります。金額は税抜きの金額でございます。

令和5年度の営業利益は中ほどにございますとおり5,913万3,076円となり、営業外収支を含めた経常利益は6,029万521円となりました。最終的に4,508万5,757円の純利益となり、未処理欠損金は5,038万982円となりました。

少しページを飛んでいただいて、63ページをお開きください。

欠損金処理計算書（案）です。こちらも金額は税抜きでございます。

未処理欠損金5,038万982円を翌年度へ繰り越す処理案となります。

資料は替わりまして予算決算常任委員会説明資料の62ページをお開きください。

こちらに対応します決算書は68ページと71ページでございます。

収益的収支の営業収益で、利用収益のうち入場料の決算額は1億1,877万5,000円となりました。前年度の9,905万9,000円に対し、1,971万6,000円の増額となっています。有料入場者は先ほどお話しさせていただいたとおりですが、17万6,850人となりました。

販売収益の一般売上料の決算額は1億2,417万2,000円で、施設内各店舗での売上げです。前年度1億345万9,000円に対し、2,071万3,000円の増額となりました。

その他営業収益の雑収益でございます。こちらも決算書は71ページでございます。雑収益の決算額は127万8,000円となりました。前年度77万8,000円に対し、50万円の増額です。このうち、2月に実施しました冬のライトアップ事業の協賛金として約100万円を収納しております。

続いて、営業外収益でございます。寄附金でございますが、こちらも決算書71ページを御覧ください。寄附金の決算額は8万2,000円でした。2名の方々から御寄附をいただいております。前年度22万円に対し、13万8,000円の減額となっております。

続いて、特別利益でございます。こちらも決算書は71ページでございます。特別利益の固定資産売却益は森宿舎を売却した際の利益で、決算額は289万円となりました。この建物は過去に旅芝居や影絵劇を合掌村で実施していた頃、劇団員の宿舎として取得していたものです。

特別利益のその他特別利益でございます。こちらも決算書は71ページでございます。決算額2億6,507万2,000円で、使途不明金事件の賠償額が判決確定したことから、損害賠償債権として利益計上したものでございます。

続いて、収益的支出のうち新規事業として、営業費用、施設経営費の旅費についてでございますが、こちら決算書は73ページになります。施設経営費の旅費は決算額37万1,000円となりました。このうち令和5年度、新たに委嘱した下呂温泉合掌村経営相談役の費用弁償5万2,000円が含まれております。前年度26万6,000円に対し、10万5,000円の増額となりました。

施設経営費の報償費でございます。こちらも決算書は73ページでございます。決算額は384万円となり、前年度262万1,000円に対し、121万9,000円の増額で、新たに委嘱した下呂温泉合掌村経営相談役への謝礼金91万8,000円が含まれております。

施設経営費の広告宣伝費は、こちらも73ページ、決算書になります。決算額48万3,000円のう

ち、新規に実施いたしましたライトアップ事業に関わるカーボンクレジット購入代1万2,728円が含まれております。前年度23万6,000円に対し、24万7,000円の増額となりました。施設経営費の賃借料は、決算額846万7,000円に、同じくライトアップ事業の照明機器や送迎バスの賃借料が含まれています。前年度884万6,000円に対し、37万9,000円の減額でございました。決算書のほうは74ページでございます。

説明資料のほう、63ページを御覧ください。

特別損失でございます。こちらは決算書74ページを御参照ください。固定資産売却損は森宿舍土地を売却した際の損失で、決算額は2,017万5,000円でした。これは簿価2,700万円の土地を682万4,000円で売却したことによる売却損でございます。

特別損失のその他特別損失のほうでございます。こちら決算書74ページでございます。決算額は2億6,299万2,000円です。先ほど特別利益に計上した損害賠償債権のうち、回収が不能と見込まれる額を貸倒引当金繰入額として計上したものでございます。

続いて、拡充事業でございます。

営業費用の施設経営費の委託料でございます。決算書のほうは少し戻っていただきますが、73ページでございます。決算額は944万2,000円となりました。こちら、わら細工実演業務を追加、拡充したことで、前年度779万4,000円に対し、164万8,000円の増額となりました。

同じく施設経営費の手数料で、こちら決算書は73ページでございますが、決算額は837万9,000円となりました。いろいろ火焚き業務の追加、拡充により、前年度632万3,000円に対し205万6,000円の増額となりました。

次に、継続事業になります。

営業費用の一般管理費の給料でございますが、決算書は72ページになります。決算額は1,377万9,000円でした。前年度1,594万6,000円に対し、216万7,000円の減額となりました。

職員手当につきましては、こちら72ページでございますが、決算額465万5,000円となり、前年度577万3,000円に対し、111万8,000円の減額でございました。

続いて、施設経営費の給料は、決算額2,651万7,000円で、前年度2,376万7,000円に対し、275万円の増額となりました。

続いて報酬でございます。こちら決算書は72ページでございますが、決算額は591万9,000円となり、前年度719万7,000円に対し、127万8,000円の減額でございました。

また、職員手当につきましては、決算額377万8,000円となり、前年度295万3,000円に対し、82万5,000円の増額となりました。

法定福利費でございますが、決算書は73ページでございます。決算額717万4,000円で、前年度642万4,000円に対し、75万円の増額でございました。

資料の64ページを御覧ください。

光熱水費のほうでございます。決算書のほうは73ページでございます。決算額606万円となり、前年度765万8,000円に対し、159万8,000円の減額となりました。

修繕費でございますが、こちらは決算書74ページでございます。決算額322万3,000円で、前年度80万2,000円に対し、242万1,000円の増額でございます。

負担金でございます。引き続き、74ページでございますが、決算額302万8,000円で、前年度261万2,000円に対し、41万6,000円の増額となりました。

販売費用の販売品仕入費でございます。決算書のほうは74ページでございます。決算額3,463万4,000円で、前年度2,752万1,000円に対し、711万3,000円の増額でございます。

原材料費でございます。こちら決算書74ページでございます。決算額1,996万9,000円となり、前年度1,632万1,000円に対し、364万8,000円の増額となりました。

減価償却費でございますが、こちら決算書74ページでございますが、有形固定資産減価償却費については決算額939万7,000円となり、前年度974万2,000円に対し、34万5,000円の減額となりました。

続いて、資本的収支でございます。

国庫補助金は1,000万円を受け入れ、しらさぎ座保存修理工事に充当いたしました。決算書は60ページでございます。同じく決算書の60ページでございます。固定資産売却代金は森宿舍土地の売却代金で、決算額は682万4,000円でございます。

続いて、出資金は一般会計より977万7,000円を繰入れいただきました。ふるさと寄附金制度を活用したガバメントクラウドファンディングによる寄附金が財源となっております。

最後に、資本的収支における新規事業として、しらさぎ座保存修理工事を実施いたしました。決算額は2,420万円でございます。

令和5年度下呂温泉合掌村事業会計決算についての説明は以上でございます。御審査をよろしくお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

これより認第11号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について質疑を行います。常任委員会として質疑があると確認しておりますので、そちらの質疑を先に受け付けます。

○委員（加藤久人議員）

2点ほど教えていただきたいんですけども、まず決算書の71ページを出していただきたいんですが、71ページの、先ほども説明あったんですけども、特別利益の2のところのその他特別利益2億6,507万2,905円は使途不明金による損害賠償額で、裁判が終わって収入に上げられたという説明を受けました。

そして、今度は74ページをまた出していただきたいんですが、74ページの今度は、同じ一番最後の特別損失のところの一番下のその他特別損失2億6,299万2,149円がもう損失として上げてあるということで、先日、この事前質問回答一覧ということで、これももし出せれば6ページを出していただきたいんですが、要は収入と損失としてみえる差額分が208万756円発生しますのでこの部分はどのようなものですかということでお尋ねをさせていただきましたところ、今画面に出て

おりますここ、上から2つ目のところの回答欄のところ、事件に係る損害賠償額を調査する過程で把握した被告（協力者（死亡））名義の預金残高があったので弁護士により強制執行の手続を進めているところですのでということで、要はこの分は回収できる可能性があるということで上げられて、その下の質問のところの③の2、損害賠償債権208万756円を債権として上げておられるということなんですけれども、実は先日の全員協議会のところで、もし資料が出せれば出していただきたいんですが、ここの中での4の(3)のところ、控訴した協力者には個人再生手続を進めており、債務の弁済がこれによって一部免責されます。今後は再生計画に基づき免責後の債務が弁済されることとなりますということで、一応この部分に戻るといような説明を受けましたし、次の21日の中日新聞にも、男性に求めたのは約2,500万円を回収する方針で求めていますというような新聞記事があったんですが、ここがちょっとこの会計上とはずれがあるような気がするものですから、私の認識不足でしたらこの辺の御説明をいただきたいというのが1点。

もう一点がその今の、もう一度、先ほどの事前回答一覧の6ページを出していただきたいんですが。

貸借の中で、先ほどの未収金と特別損失の差額分が1,932万154円ありますので、この内訳は何ですかということでお尋ねしましたところ、3番は先ほどの債権ですし、2番は一般会計出資金ということで、先ほど説明がありましたクラウドファンディングのお金で、いただけるという部分で未収金に上がっていると思うんですが、①のところ、営業未収金が746万2,398円あるんですけども、もしこのさらなる内訳が、全てでなくてもいいんですが、2点か3点分かればこの時点で分かれば教えていただきたいですし、分からなければ分からないで結構ですので、この2点について、まず御回答いただけるとありがたいです。以上でございます。

○観光施設長（熊崎一彦）

まず1点目のお尋ねでございますが、決算を打つ時点で確実に分かっていたものということで、今の200万ほどを回収可能として、その差額分を貸倒れとさせていただきます。その後、先日御報告させていただきましたとおり、判決のほうで確定いたしましたし、そのこともありますし、実際、今の個人再生が始まったというのも決算がまだ進んでいる中で分かったことですので、その辺り、決算を打つタイミングと実際に回収可能額が把握できたというのはずれがあるというところで、その後は今後の経理処理の中でまた直していく、整合性を取っていくことになるというふうに思っております。

続いて、2点目でございますが、営業未収金の746万2,398円でございますが、こちら、ほとんどがキャッシュレスであったり、それから旅行会社さんがバウチャーですか、クーポンで申し込んで売り掛けになったものがほとんどでございます。そういったものの合計が746万2,398円ということで未収金として計上させていただきました。以上でございます。

○委員（加藤久人議員）

先ほどの特別損益につきましては理解しました。ですから、本来ですと回収できそうなものはまだ未収金で残しておいて、確定した時点で損益で落としていくというのが一般的な会計の流れ

かなと思うんですけども、ですから今後、もし回収できれば、その分また戻されるというような会計処理をされるということかなと思って理解をしましたので分かりました。

それと今度は2点目で、なぜお聞きしたかというと営業未収金というのは旅行者さんですとかクレジットカードなんかのが翌月とか2か月遅れで入金になる分が3月末で未収金で残ったのかなと思ったんですけども、できればこういったものをこういったところに少し主立ったものだけでも書いていただいたほうが……。というのは、大体3月末の時点での残金というのは大体年度で似たような数字になってくる部分が多いと思うんです。そうすると、去年、一昨年と比べてみると異常に例えば売り掛け、旅行者さんの金額が多かったりとか、クレジットカードが多くあって処理してあったりとかということに気づけると、いろいろな事故等に、本当に専門が分かった方でないところの中身は分かんないですけども、ある程度の方が見て分かるというふうにしていただければ事故の防止にもつながるのではないかなと思いますので、その辺をもう少し、詳細を書いていただけるとありがたいかなと思ったものですから意見として述べさせていただきますので、また今後ともよろしくお願いをいたします。以上でございます。

○観光施設長（熊崎一彦）

今ほどの御意見ですが、こちらを皆様にお諮りする前に監査委員による決算審査も受けておるところで、その際には未収金の残高報告書という形でつぶさに見ていただいております。この場でお示しすることについては、また今後も検討させていただきたいと思います。よろしいでしょうか、以上です。

○委員（加藤久人議員）

ちょっと余分なことになってしまうかも知れないですけど、一般会計でも先日、一般会計なんかも本当に多くの方が目を通してみえますけれども、後期高齢者医療保険のときに、先日監査を受けたときに間違っておって、前年より繰り越していたけれども、気づかれずに通ってしまったというのが出ていますので、そうなる、こういった会計になってくるとなかなか目の行き渡る部分も少なくなると思うものですから、やっぱり少しでも詳細に書いていただいたほうがいろんな事故を防ぐのにつながるのではないかなと思いましたので意見を述べさせていただきました。ありがとうございました。

○委員長（森 哲士議員）

関連として。

○委員（今井政良議員）

まずもって、この施設は大変入場者数も多くて収益もあったということで大変、担当部署につきましては職員一同、一丸となられての結果でないかなということで、お礼申し上げたいと思います。

その中で、レジの関係ですが、2万5,282円ほどの不足金が発生したというようなことでちょっと気づいたんですが、これにつきましては、年間トータルなのか、特定の日で発生したのか。また、そのレジなんですけれど、不祥事があった時分に質問もしたことあるんですが、金庫箱と

どうか全くレジでなしに箱のような手提げ金庫やね。わらじとかいろんな体験施設なんかはそういったもので対応されていたのではないかなと思うんですけど、不祥事が発生した後はレジを各部署に設けたというようなことで説明を受けておりますが、今回こういったようなことでどういった場所で起きたのか。幅がありますので店舗でないかなと思うんですが、その辺についてちょっと分かれば教えていただきたいということと、そういった過不足があった場合に、施設長あるいは課長さん、上司への報告というのは、また、チェックは毎日やられているのか、その辺も併せてお伺いします。

そしてまた、今後このようなことがあって、その後どういったような対応でレジを管理しているのかお聞きします。

○観光施設長（熊崎一彦）

まず、レジ不足金の2万5,282円については年間通して発生したものでございます。今御指摘のとおり、レジにおける現金、お釣りの受渡しの際に出たものであったり、あと、今はそちらのほうは見直しましたが、当時は足湯のほうはタオルを無人で販売しておりまして、タオルを受け取られてそれをボックスの中に入れていただくような、そういう取扱いをしておりました。そちらはやはりどうしてもお金を入れずにタオルを持っていかれる方があったりしたものですから、そういったものでこういった金額が発生しております。

やはり、どうしても繁忙期でそういった、お客様との対応で漏らすことがあるわけですが、そういった過不足につきましては毎日収支は合わせておりますので、その際に不足が発生した場合の報告を私にいただいておりますし、それについての対応についても、その都度店舗の皆さんと共有しておるところでございます。

また、今後それを発生させないための対応ということですが、細かい話になりますが、レジで一旦取引して小計を押すとトータルが出るわけですが、そこで幾ら預かったかというところを押さずに現計してしまう、暗算できるものですから暗算でやってしまうようなパターンがあるわけですが、今後そこはやはり預かったお金もちゃんと入力して、残りの現金、預かった現金が分かったり、お返ししたお釣りが分かるような、そうすると後でたどり着けるというような指導をさせていただいて、発生の減ることに努めておるところでございます。

また、例月現金出納検査は毎月ありますので、その際にも、この過不足は監査委員の皆さんに見ていただいておりますし、報告をさせていただいているところでございます。以上です。

○委員（今井政良議員）

分かりました。前回はタオル等の過不足というようなことで差額が出るということであったんですが、やはり1億2,400万ほどの販売売上げがあるわけですね。今はレジといいますと例えば打ったものを、1万円なら1万円入れると釣銭が自動的に出る、そういったレジもありますので、これだけの大きな金額、売上げがある場所ですので、そういったものでやれば釣銭の不具合というか間違いは絶対ないと思いますし、そういったことをやることによって職場の安心、そして安全で働きやすい、特に少ない人数で売店等もやってみえると思うんですが、そういった場合の危

険度も少なくなると思いますので、今後こういったレジの更新も考えていただいてやっていただくということも大事でないかなと、やっぱり働く人の環境整備についても必要でないかなと僕は思うので、ぜひそういった面で職場の環境を整備していただきたいと思いますが、その辺についてお願いします。

○観光施設長（熊崎一彦）

レジにつきましては更新の期限も迫ってきてございますので、どうしてもヒューマンエラーというのは起きると思っております。そこはもう機械的にカバーしていくしかないのかなというのもありますので、今後、レジの導入に際してはそういったところも含めて検討してまいりたいと思います。以上です。

○委員長（森 哲士議員）

それでは、各委員の質疑に入ります。

何かありませんか。

○委員（鷲見昌己議員）

毎年お願いしておりますが、まだ市民の中にはこの問題のことに対していろいろ言われる方も残っています。

例年10月の広報「げろ」で損害額の回復状況というの、しっかりと公表されております。これでいうと本年度の経常利益額が6,000万ぐらいなのかな。ということは、それで引き算をするとあとは3,500万ぐらいという、令和3年の当初のときの状態に戻るのということ、これが自助努力でここまで来ていますよということで、特に大きな経営利益も上がっている部分もありますので、しっかりとこの10月の広報「げろ」で、同じような形で公表していただけると市民にも安心していただけるとと思いますので、ぜひお願いします。

○観光施設長（熊崎一彦）

御指摘いただいた広報の件につきましては引き続き10月号で、訴訟の経過も含めて、今の損害額の回復状況につきましては市民の皆さんに広報させていただくように手続をしておるところでございます。以上です。

○委員長（森 哲士議員）

ほかにありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で、認第11号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について質疑を打ち切ります。

それでは引き続き、認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について審査を行います。

説明をお願いいたします。

○金山病院事務課長（亀山嘉人）

それでは、私のほうから、認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定につい

て、説明資料に沿って説明をさせていただきます。

なお、決算書は91ページの収益費用明細書をお願いいたします。説明資料は65ページです。

収益的収支の収入、医業収益、入院収益、決算額 3 億6,259万6,000円、一般病棟延患者数7,660人、療養病棟延患者数7,339人の入院収益です。

外来収益の決算額は 3 億7,786万8,000円、外来延患者数 3 万2,227人の診療収益です。

その他医業収益の決算額は8,907万4,000円で、内訳は室料差額収益が1,013万1,000円、公衆衛生生活動収益1,477万3,000円、医療相談収益2,008万8,000円となっております。なお、他会計負担金3,629万4,000円につきましては、実績報告書102ページにあります一般会計からの補助金の 4 億5,000万円のうちの救急医療確保経費分の繰出金でございます。

説明資料に戻りまして、文書料などのその他医業収益778万8,000円。

医業外収益、他会計補助金の決算額2,060万9,000円につきましても、実績報告書102ページにあります一般会計からの補助金 4 億5,000万円のうち、医師等研究研修経費から共済組合追加費用までの分を合わせた分の繰出金のものであります。

続きまして、説明資料に戻りまして、国庫等補助金437万2,000円、こちらは岐阜県医療機関物価高騰支援金をいただいたものでございます。

負担金交付金 3 億9,515万5,000円、こちらも実績報告書102ページにございます一般会計からの補助金 4 億5,000万円のうち、企業債償還利子から不採算地区病院運営経費の繰出金の分でございます。

説明資料のほうに戻りまして、長期前受金戻入の決算額は2,211万9,000円。

その他医業外収益1,727万2,000円ですが、内訳といたしまして、歯科廃金属売却で1,015万5,000円、岐阜県総合医療センター医師派遣費として218万2,000円などがございます。

継続事業です。

医業費用、材料費、薬品費、決算額は7,672万5,000円。内訳は注射薬品費で2,909万1,000円、調剤薬品費784万9,000円、その他薬品費3,978万5,000円となっております。

なお、参考といたしまして、決算報告書の88ページ、3. 業務、(1)業務量の欄に、調剤件数及び検査件数を記載しておりますので御参照ください。

説明資料66ページ、決算書は92ページをお願いいたします。

診療材料費は4,138万6,000円。内訳でございます。医療消耗品費で3,996万1,000円、歯科材料費で142万5,000円です。

経費、報償費の決算額5,029万1,000円。こちらはパート医師の報償費です。

旅費交通費の決算額388万9,000円。

消耗品費、決算額493万円。

光熱水費3,082万円。内訳でございますが、電気料が2,845万4,000円、水道料金が235万4,000円、ガス使用料といたしまして 1 万2,000円でございます。

修繕費584万4,000円、決算報告書の87ページ、(2)保存工事等の概況で修繕等を記載しており

ますので、こちらも御参照いただければと思います。

賃借料です。決算額2,148万2,000円。内訳でございますが、医療機器賃借料で894万5,000円、寝具・室内装飾賃借料547万円、事務機器他賃借料といたしまして706万7,000円です。

委託料の決算額1億5,795万1,000円。こちらは臨床検査、病理などの委託料1,030万6,000円や、歯科技工業務などの599万3,000円など、委託業務の内訳につきましては、事業概要に記載をさせていただきますので御覧ください。

雑費の決算額は382万2,000円。主な内訳といたしましては、ネット照会サイトを利用しました当直医師紹介利用料234万円などでございます。

減価償却費の建物減価償却費、決算額4,712万6,000円、器械備品減価償却費、決算額2,948万2,000円、ソフトウェア減価償却費の決算額は871万6,000円となりました。

令和5年度固定資産明細書につきまして、決算報告書の102ページに記載をしておりますので、こちらのほうも御参照いただければと思います。

決算書93ページ、説明資料は67ページをお願いいたします。

資産減耗費、固定資産除却費といたしまして634万6,000円、こちらは全身用エックス線CT装置更新に伴います除却が374万5,000円、あと9つの機器更新に伴う除却費が含まれております。

業外費用といたしまして、支払利息及び企業債取扱諸費といたしまして1,052万3,000円、企業債の利息で1,047万1,791円、一時借入金の利息といたしまして2万7,945円を支払ったものでございます。

雑支出の決算額は4,051万6,000円。内訳でございますが、仮払消費税振替処理に伴います控除外消費税4,047万2,000円と、公衆電話使用料収入に伴いますその他雑支出4万4,000円でございます。

長期前払消費税償却、決算額が516万1,000円となりました。

決算書の78ページをお願いいたします。

資本的収支の収入でございますが、出資金、決算額5,330万円は一般会計からの出資金で、実績報告書102ページにあります一般会計からの投資及び出資金からの繰出金でございます。

国県支出金、決算額4,571万2,000円は県補助金で、全身用エックス線CT装置購入等に伴い、令和5年度医療施設等設備整備費補助金4,483万2,000円を受けたことが主なものでございます。

企業債、決算額3,240万円、これも全身用エックス線CT装置購入に伴います医療機器整備事業で借り入れたものでございます。

病院事業債、過疎対策事業債、ともに1,620万円を借り入れております。

決算報告書89ページにおきまして企業債の概況、94ページに企業債明細書を記載しておりますので御参照ください。

支出の建設改良費でございます。決算額8,341万2,000円は、施設整備工事、有形固定資産購入等で購入いたしました医療機器等につきましてでございます。決算報告書の87ページに工事等の概況で内訳を掲載しておりますので御参照ください。

企業債償還費、決算額 1 億1,071万6,000円。内訳は、病院事業債が 7 件で4,188万6,050円、過疎対策債が12件で6,471万3,292円、特別減収対策債 1 件411万6,721円の償還をしております。

なお、決算報告書の94ページに企業債の明細書を掲載しておりますので御参照ください。

説明は以上でございます。御審査のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（森 哲士議員）

これより、認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

以上で認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について質疑を打ち切ります。

それではこれより、認第1号 令和5年度下呂市一般会計決算の認定についてから認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定についてまでの討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、原案に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

ないようですので、これで討論を終結いたします。

これをもちまして、認第1号 令和5年度下呂市一般会計決算の認定についてから認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定についてまでの12会計決算の認定について、審査を終了いたします。

これより当委員会の採決を行います。

採決は1会計ごとに行います。

認第1号 令和5年度下呂市一般会計決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第1号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第2号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第2号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第3号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第3号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第4号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第4号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第5号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第5号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第6号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第6号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第7号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第7号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第8号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第8号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第9号 令和5年度下呂市水道事業会計決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第9号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第10号 令和5年度下呂市下水道事業会計決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第10号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第11号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について、本案を認定と決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第11号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、認第12号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について、本案を認定と決

することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、認第12号は、全会一致で認定すべきものと決しました。

これにて、今定例会において当委員会に付託されました決算の審査は終了いたしました。

午後1時48分 閉会